

取組概要	ネットワーク化	統合	多様な組織の参画	棚田振興	スマート農業
	○				○

集落協定間のネットワーク化と生産組合との連携による持続可能な活動体制の構築

- 愛媛県宇和島市御槇地域の2つの集落協定でネットワーク化を行い、共同取組活動の連携促進や事務作業の共同化を進める
- 御槇地域の農業者で結成された御槇生産組合に、ネットワーク協議会から農作業委託を行い、構成員の負担軽減を図る

集落の課題

担い手不足と経営負担の増加

- ・人口減少による担い手不足
- ・耕作者の高齢化
- ・協定の役員の固定化、役員の成り手不足
- ・耕作放棄地の拡大
- ・農業機械等の経費負担の増加
- ・鳥獣害の高止まり



【集落の様子】

取組内容

活動の継続と効率化に向けた体制整備

- ・農作業（農道やため池の草刈り、水稻防除等）や事務の共同化を推進することで、活動継続に向けた体制の構築を図る。
- ・事務の共同化では、活動実績の作成や会計事務は協議会にて行い、地元の構成員は共同取組活動のみ行うこととするなど、役割分担を明確化し、構成員が作業に専念できる環境を整備する。
- ・これまで個々の構成員が行っていた水稻の防除や田植え、稲刈り等について、協議会が中心となって、御槇生産組合へスマート農業機械（ドローン、リモコン草刈機）等による農作業委託を行うことで、構成員の作業負担の軽減を図る。
- ・御槇生産組合では、協議会からの委託費をもとで大型機械の導入、オペレーターの育成や法人化による耕作地の集約を進めるなど、集落が一体となった農地の維持管理に努める。

取組の目標

地域一体型の農地の維持・管理

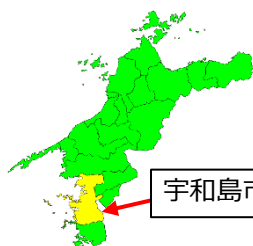
- ・集落協定のネットワーク化（協議会型）による事務負担等の軽減
- ・農作業委託による作業の効率化・省力化

	令和7年	令和11年
農用地に占める農作業委託率	35%	80%

- ・トラクターや田植機等の共同利用の体制を構築し、構成員の経営負担の軽減を図る。
- ・御槇生産組合では、農作業受託のほか機械のリース、高収益作物の栽培、雇用創出による集落協定の事務局受託など、多角的な役割を目指す。

取組地域の概要

○位置



宇和島市

○地域の概要

- ・宇和島市南東部で高知県境と接し、周囲を1,000メートル級の山々に囲まれた標高約250mの盆地

○主要作物

- ・水稻

○ネットワーク協議会の概要(令和7年現在)

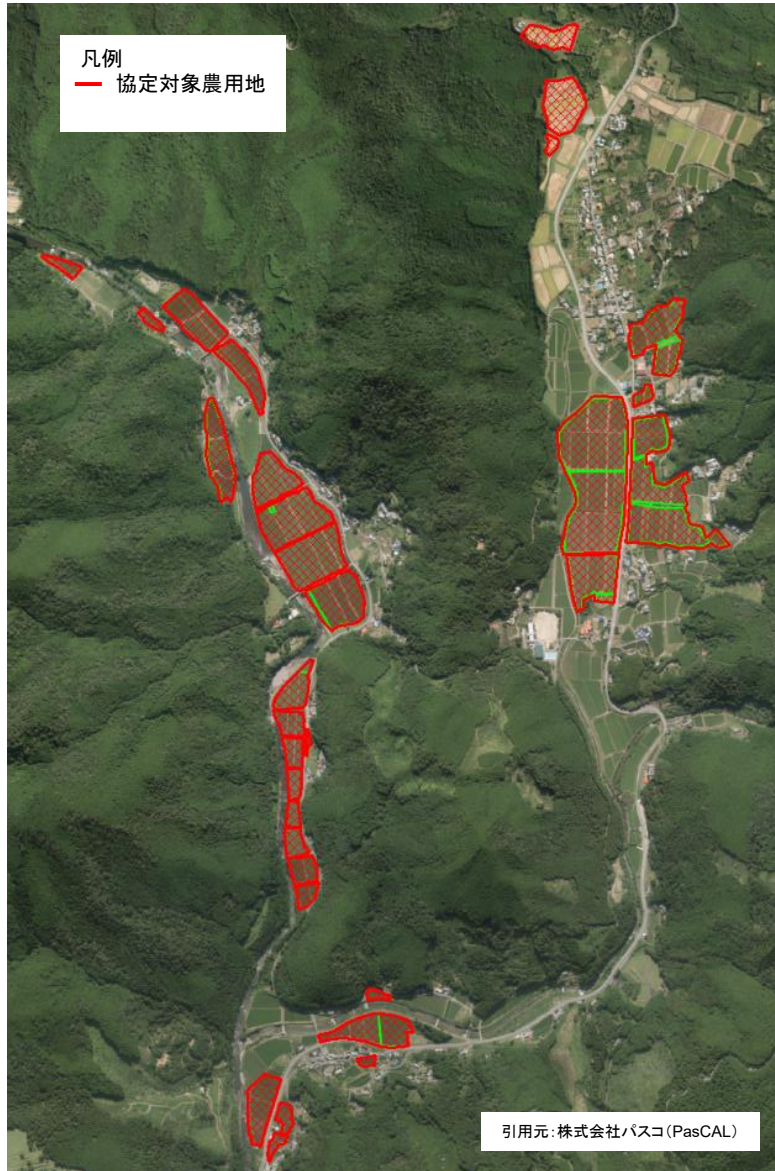
面積：32ha(田)(急傾斜9.8ha、緩傾斜22.2ha)
 交付金額：698万円(うちスマート農業加算160万円、ネットワーク化加算152万円)
 構成員：農業者延べ27人
 連携組織：多面的機能支払の活動組織
 協議会開始：令和7年度



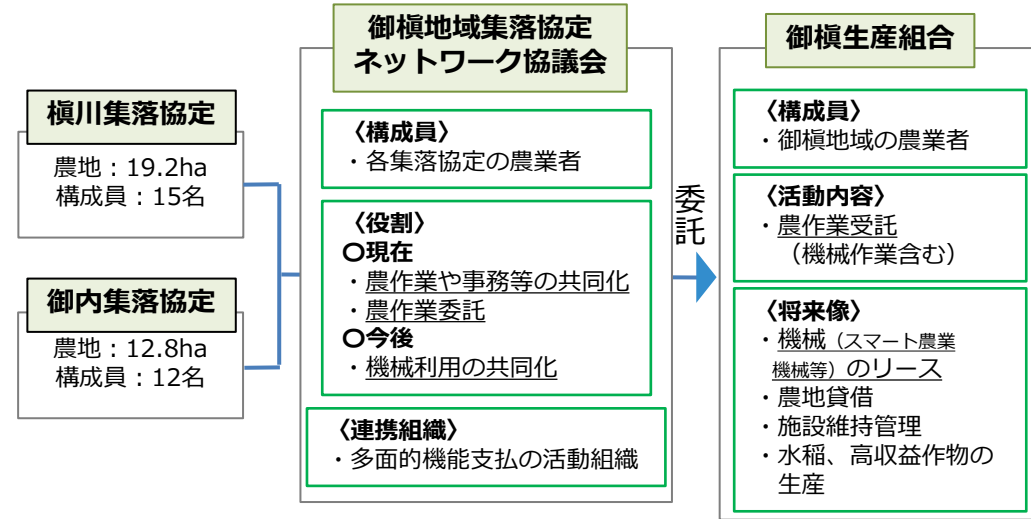
【農作業委託による稲刈り】

(参考資料)

① 位置図



② 体制図



③ 取組の様子



【トラクターによる稲刈】



【稲刈後のほ場】

取組概要	ネットワーク化	統合	多様な組織の参画	棚田振興	スマート農業
				○	

「農を楽しむ」～持続可能な地域の営農体制構築と棚田を活かした地域振興～

- 「農事組合法人菊池佐野」による農作業受託により、コスト・労力の削減に取り組む
- 地域内外の多様な人材との交流を通して地域の活性化や地域の担い手の発掘・育成を目指す

集落の課題

高齢化が進行する集落

【現状】

- ・構成員の高齢化・兼業化により、栗園の古木化・廃園化が進行（協定構成員の65歳以上の割合：64%（令和6年度時点））
- ・小規模農家が多いため、長大な法面の草刈りなど農地の維持管理に係る労力や機械購入の場合の投資コストが高い。
- ・地域行事への参加者が減少し、地域の活力が低下

【課題】

- ・作業効率化による人手不足解消及び、収益力向上による高齢者の営農意欲を持続し、次世代のリーダー育成を図る。
- ・都市住民との交流による労力の確保、農産物の認知度向上や地域活性化や、棚田の景観保全に取り組む。



【条件不利なほ場】

取組内容

持続可能な地域の営農体制構築と多様な外部人材との交流による地域活性

【これまでの取組】

- ・平成30年「農事組合法人菊池佐野」を設立し、栗園の再生、機械共同利用や作業受託などを開始。
- ・地域行事と組み合わせた農業体験イベント、大学生ボランティアの受け入れ。
- ・地元の小中学校と連携したヒマワリやコスモスなどの景観作物の植え付け。

【令和7年度の取組】

- ・地域資源を活用した、食のイベントやウォーキング、ソーメン流し、栗拾い、杵餅つきなど季節に応じた体験型行事を実施し、地域内外の交流促進に取り組んだ。



【秋の栗拾いイベント】

取組の目標

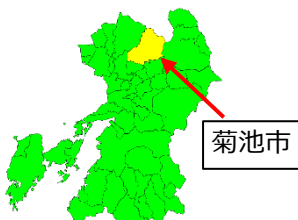
農を楽しむ、持続可能な地域づくり

高齢者が農を楽しみながら、持続的に営農活動に取り組むことができる地域づくりを目指す。

- ① 地域の持続可能な営農体制を構築
 - ・共同機械の導入による作業の省力化
 - ・ブームモア導入・共同利用による草刈り
 - ・効率的な営農体制の構築
 地域の話合いを通じて、農地を担い手等へ集積
- ② 高齢者の生きがい創出・佐野集落の農産物の認知度向上
 - ・市観光協会との連携や地元小学校へのチラシ配布、広報アプリを活用したイベントPRによるイベント参加者の増加

取組地域の概要

○位置



菊池市

○地域の概要

- ・佐野集落は、菊池市東部に位置し、栗や稲作を中心とした農業が盛んな地域。
- ・令和4年2月「つなぐ棚田遺産」認定。
- 主要作物
 - ・水稻、栗

○集落協定の概要(令和6年現在)

面積：24.7ha(田) (急傾斜15.7ha、緩傾斜9.1ha)
 4.7ha(畑) (急傾斜 0.7ha、緩傾斜4.0ha)
 交付金額：423万円(うち棚田加算160万円)
 (個人配分50%、共同取組活動50%)
 構成員：農業者33人
 連携組織：農事組合法人菊池佐野
 協定開始：平成13年度

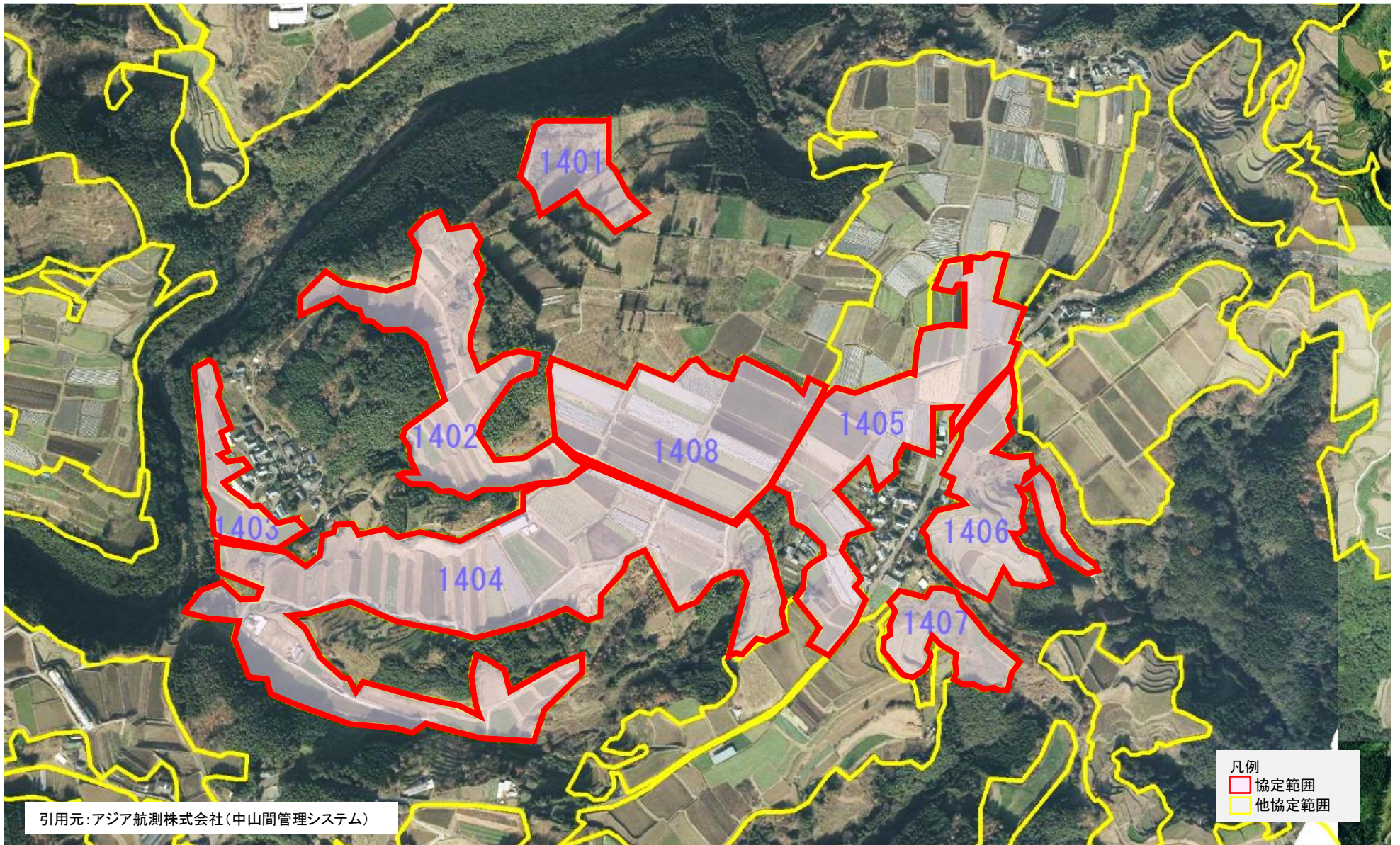


【佐野の棚田】



【アプリによるイベント広報】

位置図



取組概要	ネットワーク化	統合	多様な組織の参画	棚田振興	スマート農業
	○		○		

市全体をカバーする「中山間ネットワーク協議会」の設立と事務の一元化等による集落支援

- 市全体を対象に中山間ネットワーク協議会を設立
- 事務局は農業公社が受け、事務の一元化等を行い、集落の農業生産活動が継続される体制づくりを目指す

集落の課題

高齢化による協定面積の減少

- ・農業者の高齢化等により、草刈り等の集落活動の参加者の減少や中山間直払の事務員の不在等が課題としてあり、協定数及び協定面積は期を追うごとに減少している。

	令和元年 第4期	令和7年 第6期
協定数	98協定	88協定
協定面積	548ha	456ha

取組内容

市全体を対象に中山間ネットワーク協議会を設立

- ・第5期の最終年に市全体の集落協定（94協定）へ中山間ネットワーク協議会の構想を説明。参加意向のある集落協定から設立準備会の委員を選出。複数回の会議を重ね規約（案）及び計画（案）を作成。第6期初年度に設立総会を行い、中山間ネットワーク協議会に80協定が参加。協議会の事務局は地元の公益社団法人農業公社やまくにが行う。
- 協議会の活動内容
 - ・活動実績の作成は事務局にて行い、集落協定は作業の写真撮影や会計の管理を行うこととし、集落の事務負担を軽減。
 - ・地域の若者や事業者等にサポーター登録をしてもらい、各集落で行う草刈りや泥上げ等の作業を行う人材の確保。
 - ・集落の農業生産活動の維持に必要な共同機械の整備を検討。

取組の成果又は目標

集落の農業生産活動が継続される体制づくり

- ・ネットワーク協議会へ参加した集落はネットワーク化計画を作成することにより、10割単価での交付が可能となった。
- ・集落の事務負担の軽減や、作業員の人材の確保、共同機械の整備等を行い、集落活動の基盤を整えとともに、集落間の結束を強め、将来に向けて農業生産活動が継続される体制づくりを目指す。
- ・協定数及び協定面積の維持を図り、農地の遊休化を抑制する。

取組地域の概要

○位置



○地域の概要

- ・中津市は大分県北部に位置しており、三光地区、本耶馬溪地区、耶馬溪地区、山国地区が中山間地域となっている。

○主要作物

- ・水稻

○ネットワーク協議会の概要(令和7年現在)

参加協定数：80協定
面積：415ha(田)(急傾斜347ha、緩傾斜65ha)
交付金額：ネットワーク化加算：3,366万円
協議会への負担金：1,493万円
事務局：公益社団法人農業公社やまくに
協議会設立：令和7年度



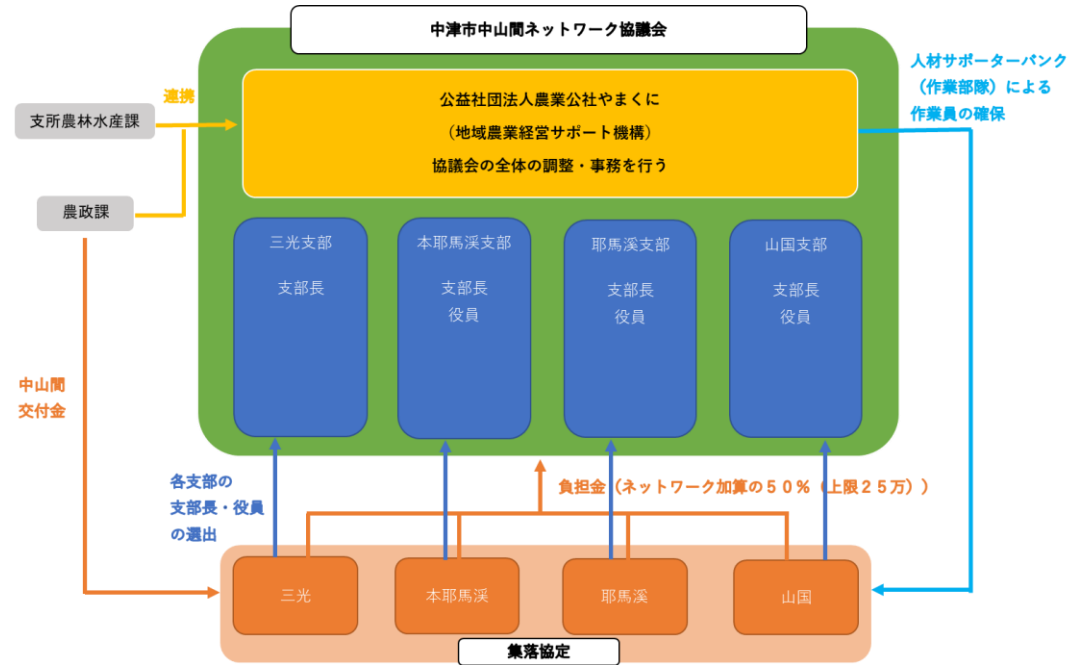
【設立総会の様子】

(参考資料)

① 位置図



② 体制図



③ 取組の様子



【役員会】



【中山間地の風景】